

1. 学習項目

整理のしかた

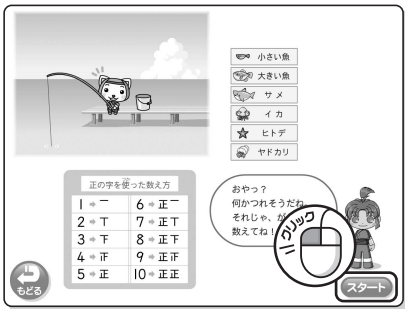
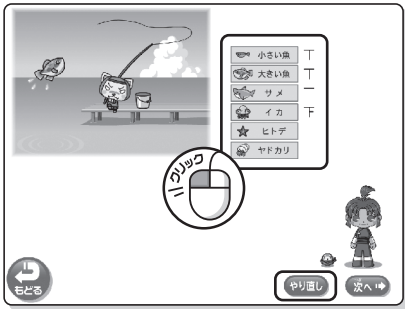
ソフト
該当項目

『表とグラフ』
整理のしかた

2. 本時の目標

- ・資料をわかりやすく表にまとめたり、表を読んだりすることができる。
- ・複数の項目の数値を、目的にあった手際のよい方法で整理する能力を伸ばす。

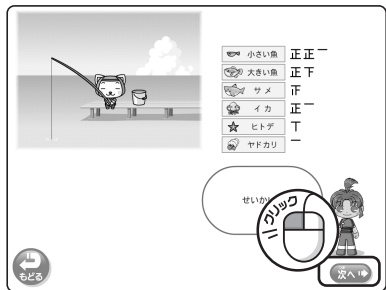
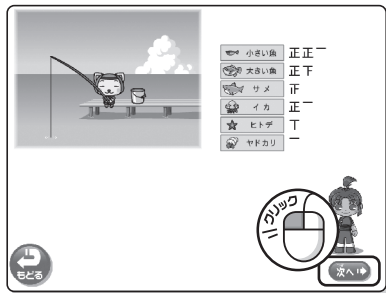
3. 本時の展開

	画面例	教師の働きかけ	児童の活動
つかむ		「前の時間に学習したことを振り返りましょう。色々な種類のものがどれだけあるかを調べて整理するには、どうすればよかったですか？」 「そうですね。今日は、数を調べて整理する練習をしましょう。」 「まず説明を見ます。整理のしかたをクリックしてください。」	「まず、何が何個あるのか数えて表にまとめます。」 「次に、数字をグラフにします。」 整理のしかたをクリックする。
見通しをもつ	 	「これから、ねこニンが魚をどんどんつり上げます。皆さんは、魚がどれだけつれたかを見て、それぞれの魚のボタンをクリックし、数を数えてください。」 「スタートボタンをクリックすると始まります。」 ※ 左図は数を数えている途中の画面です。 ※ 6種類の魚(小さい魚、大きい魚、サメ、イカ、ヒトデ、ヤドカリ)が何匹も出てきます。重複して数えないよう、注意させましょう。 ※ 間違えた場合は、やり直しボタンで最初からチャレンジできます。	「あ、ねこがつりをしているよ。」 「何が始まるのかな？」 「同じ魚を重ねて数えないようにしないといけないね。」 「数を数える時は、こんな風に『正』の字を書いていくと便利だね。」 スタートをクリック。

memo



考える1



つれる魚の数は一定の数になっています。

「全て数え終わった人は、次へをクリックして、数えた魚の数が合っているかを確かめましょう。」

次へをクリックする。

「正しく数えられたよ。」
「あれ、ちょっと間違えたみたいだ…。」

答え合わせ終了後の画面

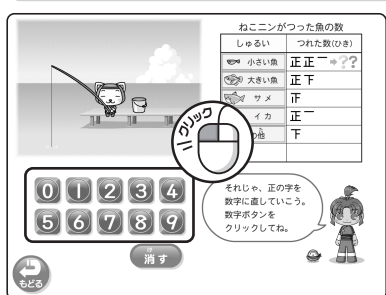
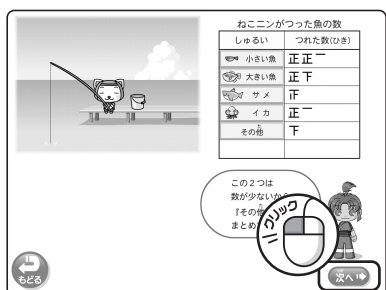
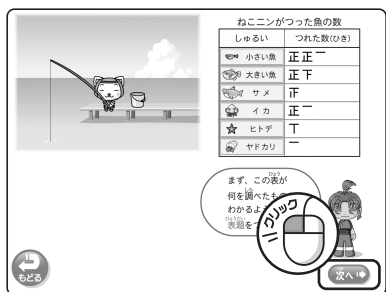
「数えた数が合っていましたか？」

「もう一度数え直すぞ。」
「よし、全部正解だ！」

次へをクリックする。



考える2



「それでは、つった魚の数を、見やすく整理してみましょう。」

「最初に、何を調べた表かが分かるように表題をつけます。」

「この表には、どんな名前をつければよいのでしょうか？」

「『魚』かなあ？」
「それでは何だかよく分からないよ。」
「『つった魚の数』なら分かりやすい？」

「そうですね。ここでは、『ねこニンがつった魚の数』という表題にします。」

次へをクリックする。

「ヒトデとヤドカリは数が少ないのでまとめて『その他』にします。」

次へをクリックする。

「次に、正の字を数字にしていきましょう。それぞれ何匹か答えてください。」

「小さい魚は11匹だね。」
「大きい魚は8匹！」
「サメは4匹、イカは6匹です。」
「その他が3匹だ。」

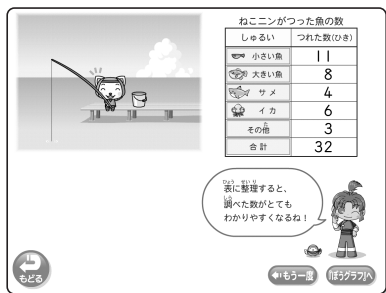
数字ボタンをクリックする。

「最後に、一番下に合計を入れます。つれた魚は全部で何匹ですか？」

「えっと、11+8+4+6+3だね。」
「答えは32匹です！」



まとめる



「これで表が完成しました。」

「次の時間はこの表を元にして『グラフ』を書く方法について学習します。」

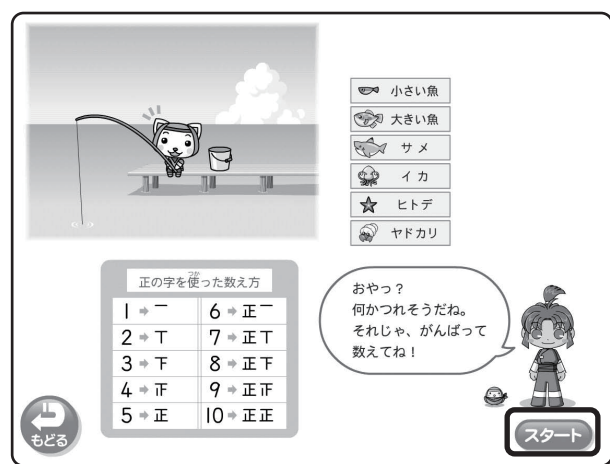
「何が何匹つれたか、とても分かりやすいなあ。」

家庭学習用にワークシートを配付するとよいでしょう。

メニュー画面

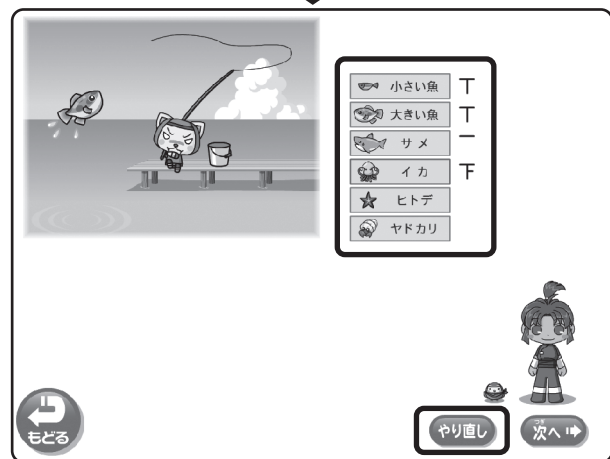


【整理のしかた】スタート画面



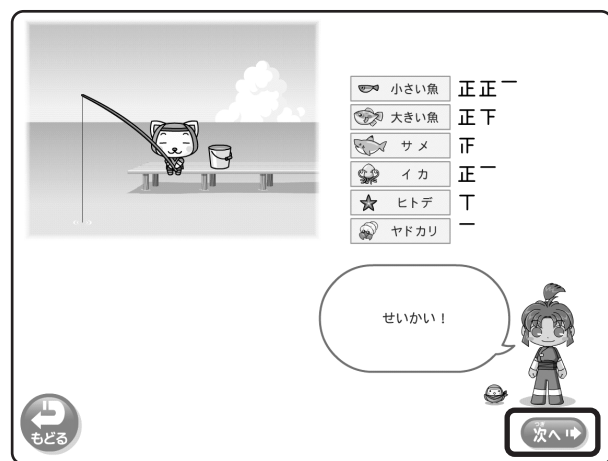
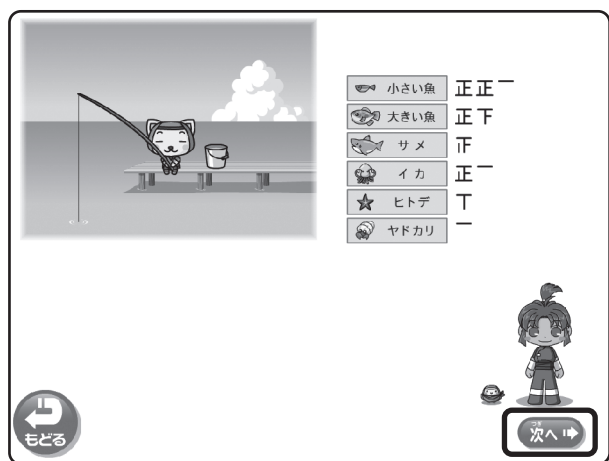
ねこニンがつった魚の数

しゅるい	つれた魚の数
小さい魚	11
大きい魚	8
サメ	4
イカ	6
その他	3
合計	32



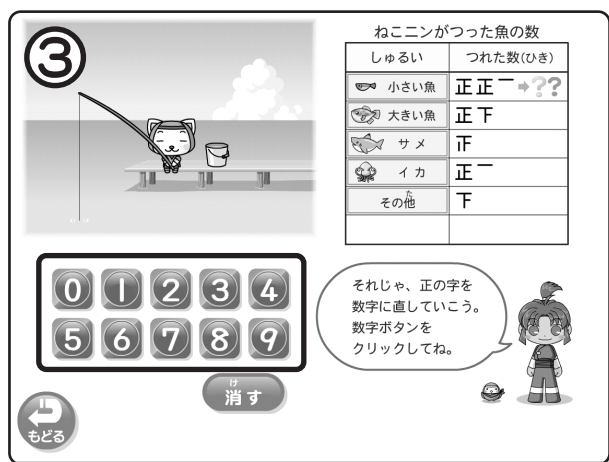
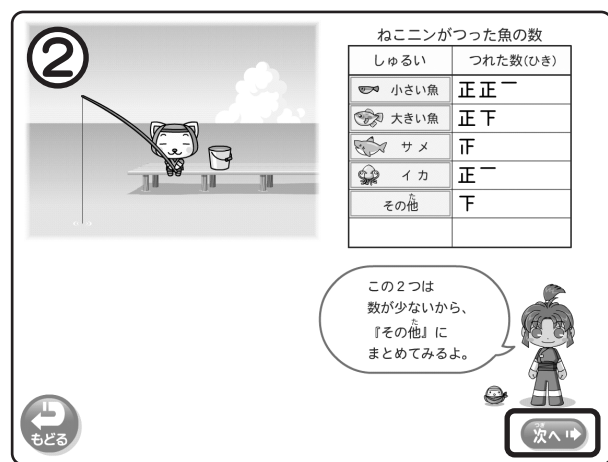
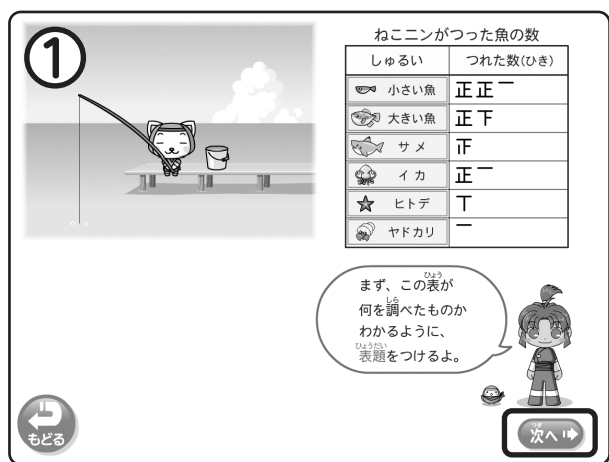
- ※ このコーナーでは、ねこニンがつり上げる魚の数を数え、数を整理して表を作成する学習ができます。**スタート**ボタンをクリックすると、学習が開始されます。
- ※ ねこニンがつり上げる魚の数は、一定数に決められています。(詳細は上記表を参照。)
- ※ 魚の名前が書かれたボタンをクリックすると、「正」の字で数が記録されていきます。重複して数えないよう、注意させるようにしましょう。数え間違えた場合は、**やり直し**ボタンをクリックすると、数を数え直すことができます。

【整理のしかた】 続き



魚の数を数え終わったら、**次へ**ボタンをクリックします。数えた魚の数が全て正解していた場合は、表の作成画面へ進めます。**次へ**ボタンをクリックしてください。

表の作成画面



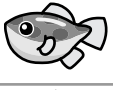
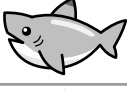
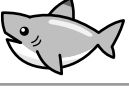
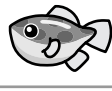
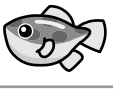
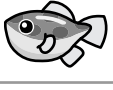
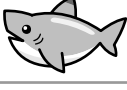
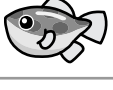
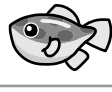
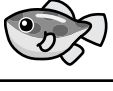
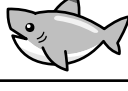
数えた魚の数を、表にまとめる学習です。①表に表題をつけ、②数が少ない項目を『その他』にまとめる作業は、ソフトの中で自動的に行われます。③「正」を数字に直す際は、数字ボタンを押すよう指示されますので、児童に操作させるとよいでしょう。

組

番

名前

★ 海で魚をつりました。つれた魚の数を表に整理してみましょう。

① 魚の数をしゅるい別に数え、
上の表に正の字で書きましょう。

(ア)

② 下の表に、^{てき せつ}適切な表題をつけ
ましょう。(ア)

③ 数が少ない  と  を合わせ
ます。(イ)に^{てき せつ}適切な名前を書きま
しょう。

④ 上の表に書いた正の字を、数字
に直したものを、下の表に書き
ましょう。

⑤ 魚の数を全てたした数字を(ウ)
に書きましょう。

	小さい魚	
	大きい魚	
	サ メ	
	イ カ	
(イ)		
合 計	(ウ)	

組

番

名前

★ 海で魚をつりました。つれた魚の数を表に整理してみましょう。

	正 正 一
	正 下
	正
	正 一
	下
	一

① 魚の数をしゅるい別に数え、
上の表に正の字で書きましょう。

② 下の表に、適切な表題をつけ
ましょう。(ア)

③ 数が少ない  と  を合わせ
ます。(イ)に適切な名前を書きま
しょう。

④ 上の表に書いた正の字を、数字
に直したものを、下の表に書き
ましょう。

⑤ 魚の数を全てたした数字を(ウ)
に書きましょう。

(ア) つれた魚の数

	小さい魚	11
	大きい魚	8
	サ メ	4
	イ カ	6
(イ)	そ の 他	3
合 計 (ウ)		32